

# 地震が発生した際の対応マニュアル

長崎大学教育学部附属小学校

電話 095-819-2271

## 【登校前】

- ◆ 震度4以下の地震 安全確認後、登校させる。
  - ◆ 震度5弱以上の地震 自宅待機
- ※学校の安全が確認されれば、緊急連絡網または附属小メール配信で「登校」の連絡をする。学校から連絡があるまで自宅待機とする。

## 【登下校中】

- ◆ 揺れが小さいとき  
直ちに歩くのをやめ止まって待機。揺れがおさまってから登下校する。
- ◆ 揺れが大きかったり、長く続いたりするとき  
最寄りの屋外の安全な場所に避難（学校や家庭で事前に確認）  
※車や建物、ブロック塀、窓ガラス、自販機など危険な場所を避ける。  
※家族が在宅の場合、児童を迎えに行く。  
※家族が不在の場合の対応を考えておく。

## 【登校後】

- ◆ 震度3以下 揺れがおさまるのを確認後、通常どおり授業を行う。
- ◆ 震度4以上 揺れがおさまってから校舎外へ避難する。  
保護者への連絡  
保護者への引き渡しの決定（校長）  
負傷者対応（養護教諭他）  
※安全確認ができれば、教室に戻し通常授業を行う。  
※ライフライン等破損がある場合は、保護者へ連絡し引き渡す。連絡が取れない場合は、学校で待機。
- ◆ 震度5弱以上 保護者へ連絡し引き渡しを依頼する。  
保護者と連絡が取れない場合は、学校で待機する。  
※飲料水、食事、衣料、医療用品等の確保

## 【震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置】

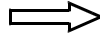
- ① 地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合→帰りの会に文書を持参
- ② 児童下校後に翌日の措置を決定した場合→緊急連絡網または一斉メール
- ③ 翌日の朝、措置を決定した場合→午前6時までに緊急連絡網または一斉メール
- ④ 電話が不通やメール配信ができない場合→学校から連絡があるまで自宅待機

緊急地震速報

**地震発生**

○：教師の動き ◎：保護者への連絡

1 児童の安全確保  
(第一次避難)



- 初動体制 (校内放送・担任等)
- ・ 頭部保護 ・机の下に避難
- ・ 負傷者の確認と指示



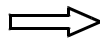
震度 3 以下

揺れがおさまるのを確認の上、通常どおり授業を行う。

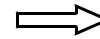
震度 4 以上  
揺れがおさまって  
校舎外への避難指示



2 屋外への避難  
(二次避難)



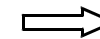
- 安全経路の確認
- 児童への指示



- 「おはしも」の徹底
- 人員点呼 担任→学年主任→教頭→校長
- 負傷者の搬送
- 疾病者の状態確認と 119 番通報



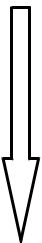
3 学校地震対策本部設置  
(校長・教頭・係長・防災  
安全担当)



- 情報収集及び関係機関との連絡 (教頭・係長)
- 保護者等への連絡・メール配信等 (主幹)
- 引き渡しの決定 (校長)
- 負傷者対応 (養護教諭他)

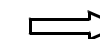


震度 5 弱 以上



- 震度 4
- 安全確認後、教室に戻し、通常どおり授業を行う。
  - ライフライン等に破損がある場合  
徒歩通学児童は、地区ごとに集団下校 (職員引率)
  - ◎メール配信及び緊急連絡網で下校時刻、迎えの要請を連絡 (主幹・学年主任)
  - ◎HPにて下校方法、下校時刻を掲載 (情報担当)
  - 保護者が帰宅できない児童は学校で待機 (事前連絡)

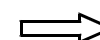
4 引き渡しを実施



- ◎ メール配信及び緊急連絡網で引き取り依頼を連絡 (連絡がつかない場合、原則保護者が迎えに来る)
- ◎ HPにて引き取り依頼を掲載



5 児童保護の継続  
引き渡し関係者 (保護者親類)  
が来校できない→学校で保護

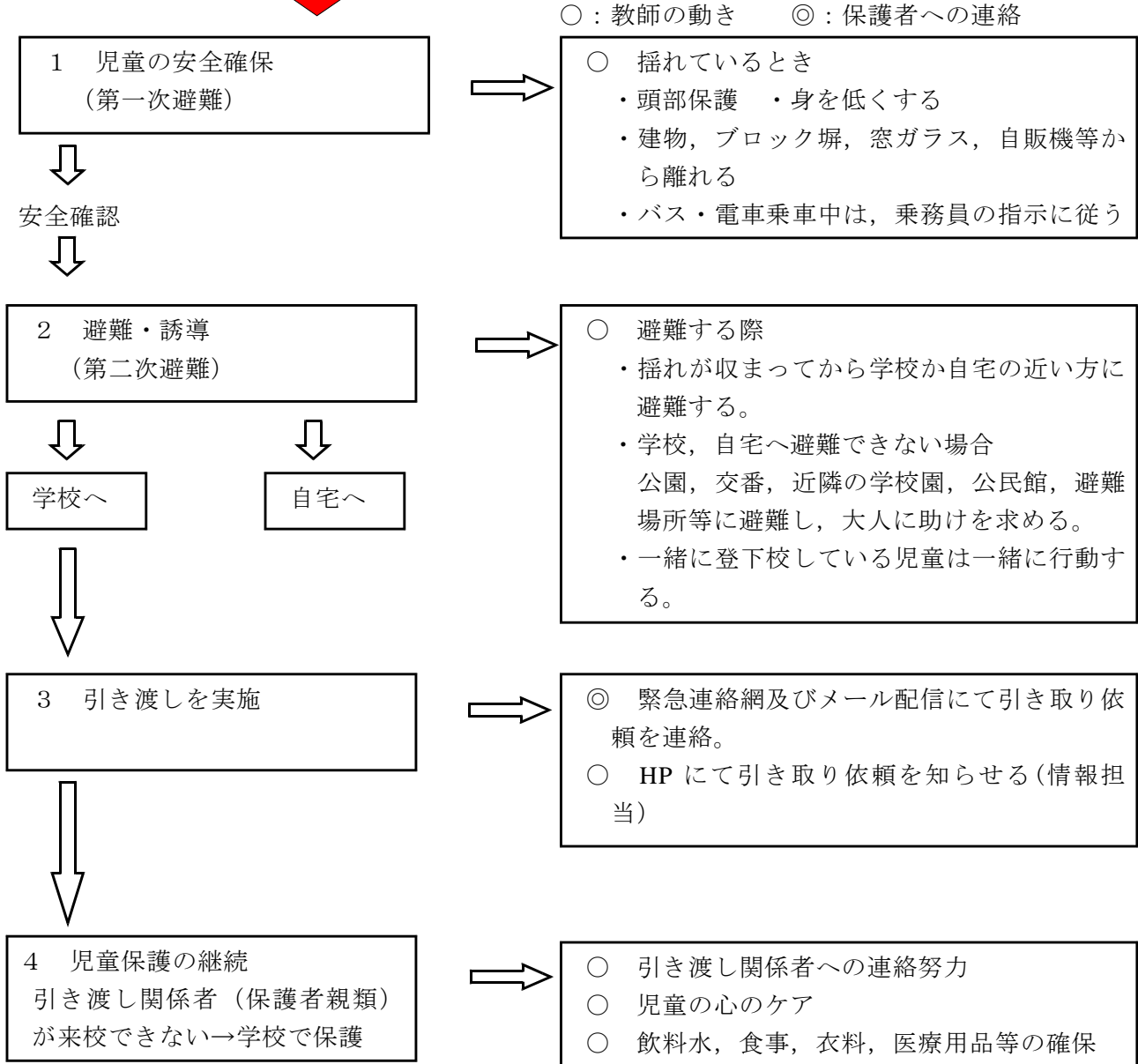


- 引き渡し関係者への連絡努力
- 児童の心のケア
- 飲料水、食事、衣料、医療用品等の確保

震度 5 弱以上の地震が発生した翌日の措置 (例：臨時休校、遅れて登校)の連絡

- ①地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合→帰りの会までに文書で通知及びメール配信
- ②児童下校後に翌日の措置を決定した場合→緊急連絡網、メール配信、HP掲載
- ③翌日の朝、措置を決定した場合→午前6時以降に緊急連絡網、メール配信、HP掲載
- ④電話、メール配信が不通の場合→原則として自宅待機、学校からの連絡を待つ、HP掲載。

緊急地震速報



震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置(例：臨時休校、遅れて登校)の連絡

- ①地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合→帰りの会までに文書で通知及びメール配信
- ②児童下校後に翌日の措置を決定した場合→緊急連絡網、メール配信、HP掲載
- ③翌日の朝、措置を決定した場合→午前6時以降に緊急連絡網、メール配信、HP掲載
- ④電話、メール配信が不通の場合→原則として自宅待機、学校からの連絡を待つ、HP掲載。

児童が校外学習等参加しているときに地震が発生した際の対応マニュアル

フローチャート編

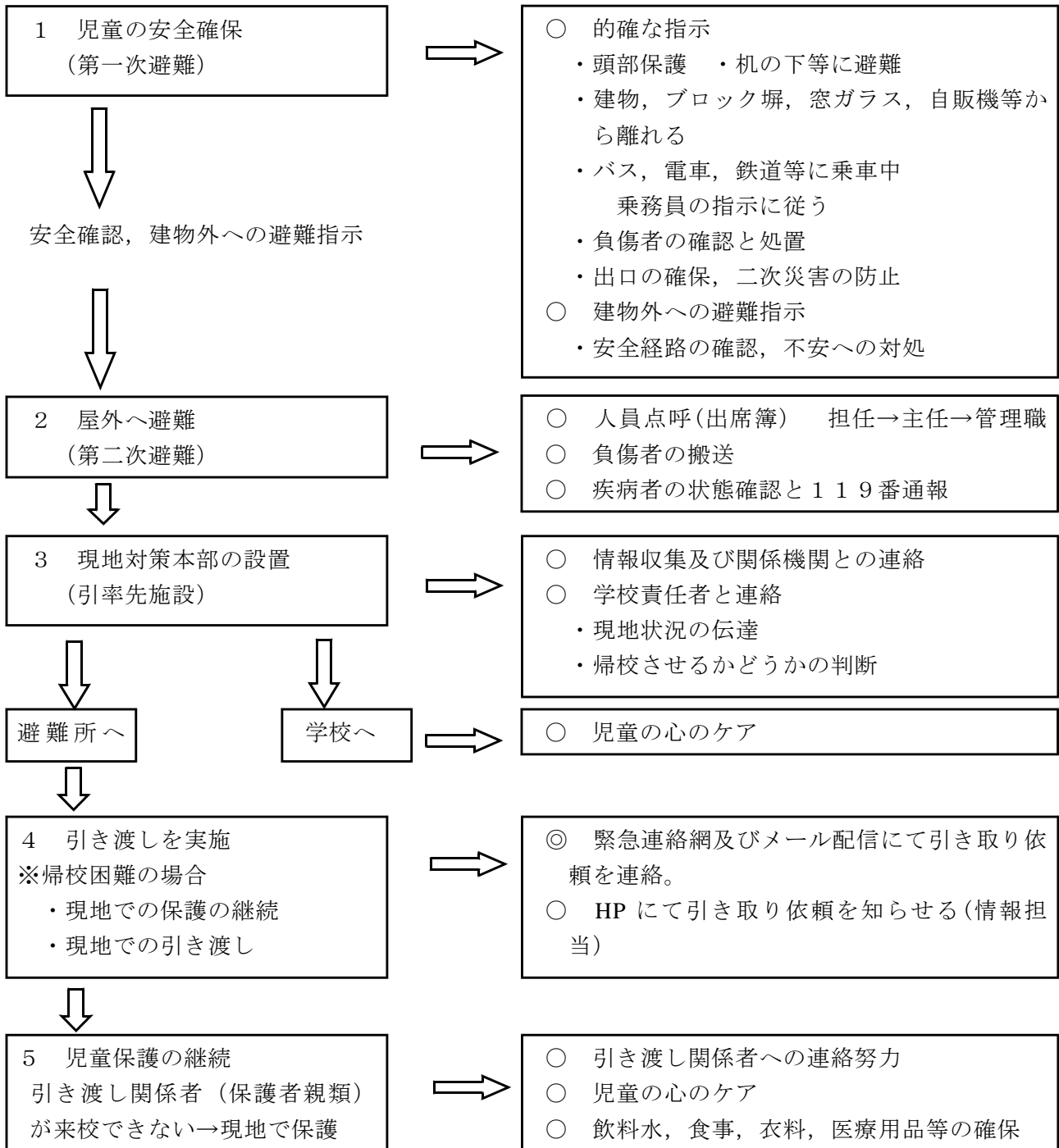
長崎大学教育学部附属小学校

電話 095-819-2271

緊急地震速報

**地震発生**

○：教師の動き    ◎：保護者への連絡



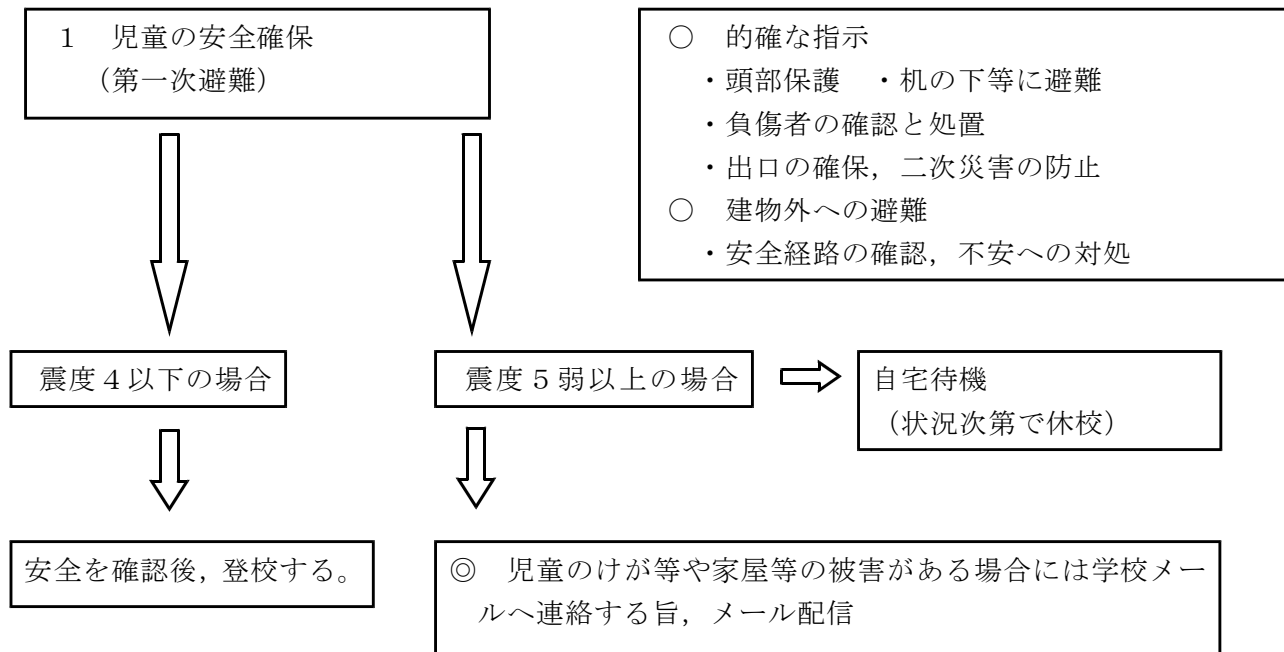
震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置(例:臨時休校,遅れて登校)の連絡

- ①地震当日,児童下校前に翌日の措置決定の場合→帰りの会までに文書で通知及びメール配信
- ②児童下校後に翌日の措置を決定した場合→緊急連絡網,メール配信,HP掲載
- ③翌日の朝,措置を決定した場合→午前6時以降に緊急連絡網,メール配信,HP掲載
- ④電話,メール配信が不通の場合→原則として自宅待機,学校からの連絡を待つ,HP掲載。

緊急地震速報

地震発生

○：教師の動き      ◎：保護者への連絡



震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置（例：臨時休校、遅れて登校）の連絡

- ①地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合→帰りの会までに文書で通知及びメール配信
- ②児童下校後に翌日の措置を決定した場合→緊急連絡網、メール配信、HP掲載
- ③翌日の朝、措置を決定した場合→午前6時以降に緊急連絡網、メール配信、HP掲載
- ④電話、メール配信が不通の場合→原則として自宅待機、学校からの連絡を待つ、HP掲載